

平成17年度

# 株式会社五霞まちづくり交流センター (道の駅「ごか」)の経営状況



加工施設

## 地域食材供給施設

レストラン「華ごぶし」  
様々な地域食材を使用した食事を提供し、昼食時にはご家族や観光団体での来店が多くありました。

株式会社五霞まちづくり交流センターにおける前年度(平成17年4月23日から18年3月31日まで)の経営状況が公表されましたので、お知らせします。  
道の駅「ごか」は平成17年4月23日にオープンし、施設の延べ利用者数は約57万9千人、総売上高は約5億436万円となり、開業初年度の経常利益は約348万円となりました。

加工施設軽食コーナー)及び物産コーナー

レストランと並ぶ軽食コーナーは幅広い客層に利用され、特に11月より販売が開始され、ラジオで特集として生放送されたローズポークまんは、大変ご好評をいただきました。

また、物産コーナーも道の駅に訪れた多くの方に利用されました。

農産物直売所「わだいわ菜」  
茨城むつみ農業協同組合に経営を委託しており、店名を「わだいわ菜」と称して地場産農産物を販売し、新鮮な農産物を求めて毎日多くのご来客があり、道の駅「ごか」の活気をより引き立てました。

## 情報施設・交流広場

情報施設では道路情報の他、行政、文化等の地域情報を検索できるシステムが備わっており、様々な道路利用者や観光者に利用されました。

また交流広場では、定期的に商工会による「ごぶし市(フリーマーケット)」が開催された他に、施設に隣接する畑を利用したコスモス祭りなど、地域の交

流や活性化を目的とした各種イベントを開催し、大勢の来場者でにぎわいました。



農産物直売所「わだいわ菜」

## 売上割戻金

約762万円を

町に納付

売上割戻金とは、(株)五霞まちづくり交流センターから施設の利用による受益の割戻金であり、売上高に应じ、平成17年度分として762万2,542円が町に納付されました。

なお、割戻金については、道の駅「ごか」における今後の修繕費用等へ充てる予定です。